

日根野校区

◆校区の概況

(平成 17 年 3 月現在)

人口 ・ 世帯数	1 1, 2 1 9 人 ・ 4, 0 3 3 世帯	※土丸を含む
高齢者人口	1, 5 1 1 人	
高齢化率	1 3. 4 7 %	
ひとり暮らし高齢者数	3 0 0 人	
高齢世帯	1 6 7 世帯	
主な校区活動場所	それぞれの町会館や集会所	
校区の特徴	支部別の活動では、小地域ネットワーク活動をはじめ、さまざまな活動を行っています。中でも応急手当の実技講習や、心肺蘇生法の体験学習など、体験型の講習を積極的行なっています。	
地域福祉活動の状況	* 小地域ネットワーク活動（個別支援・グループ支援） * 新任ボランティア講座 * 機関紙『ひねの』の発行と全戸配布 * ほほえみ交流会参加 * 世代間交流会 * イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン団体登録	

日根野地区福祉委員会

ネット対象者・個別・グループ支援活動・協力員一覧（16 年度報告より）

	個別支援活動			グループ支援活動			登録 協力員
	ネット数	延べ回数	延べ人数	回数	参加者内訳		
					対象者数	関係者数	
東上	6	2 1 8	3 5 2	1 2	4 4 9	1 0 9	2 2
久の木	6	8 3	8 3	1	2 5	2 5	2 4
中筋	9	8 4	1 6 8	2	7 0	3 5	2 0
西出	6	2 5 1	3 9 0	2	7 0	3 3	2 0
西上	2 0	1 6 9	2 2 5	4	4 6	5 0	2 9
野口	1 3	4 1	1 0 5	3	6 8	9	1 4
新道出	3	3 2	3 2	6 8	7 1 0	1 0 8	2 0
野々地藏	3	1 6	8 4	2	8 5	2 0	1 8
俵屋	5	1 0 7	1 8 3	7	2 2	5 2	9
ふみふみ 日根野	1	6 0	9 5	1	2 3	8	9
ふみふみ 日根野 式館	6	1 8 4	2 6 4	1	1 6	7	9
日根野地区（全体）				1	1 4 0	6 5	
合計	7 8	1 2 4 5	1 9 8 1	1 0 4	1 7 2 4	5 2 1	2 0 2

◆検討会の開催状況

開催日	平成 17 年 2 月 20 日(日)	開催会場	日根野町会館	参加人数	51 人
<主な意見> ● 介護保険の仕組みが高齢者に理解されていない ● 長生会に市の補助金が少なく、低収入の高齢者の生活が困難 ● 子どもを対象にした凶悪犯罪が多く、外で遊べない ● 高校生が集団でタバコをすったりして、風紀が気になる ● バリアフリーのための道路や歩道に信号機を整備する必要がある  ～高齢者や子どもに関することが多く挙げられました。子どもに関しては、登下校時の安全に加え、学童クラブの児童に対しての安全問題が挙がりました。また、この地域は新興住宅となっており、新旧の住民の交流について戸惑いの声が聞かれました。そして、転入による児童数増加のための教室不足や、校舎増築のためのグラウンド縮小などの問題も出てきています。～					

◆ワークショップの内容について（検討会での意見交換の中から、一例を紹介します）

地域の中で、問題と思うこと

- 介護保険の仕組みを高齢者に理解してもらうにはどうすればいいのか

- 道が狭くて車椅子での通行ができなかったり、バリアフリー化されていないところが多い

- 学校からの下校は集団下校だが、学童クラブからは一人で帰ることが多いので危ない

通学路が狭くて危ない。また、スピードを落とさないで通る車が多い

解決するには…

行政が行っている介護保険の出前講座などを利用して理解してもらう

行政への支援をお願いします

町会や PTA に依頼して児童の完全を確保する方法を考える。また、暗い場所などは外灯を設置する

通学路は「スクールゾーン」として、登下校時は通行禁止や徐行にする